

2018年8月3日

教員の皆様へ

2019年度からの本学授業時間割の変更について(お知らせ)

中央大学学長
福原紀彦

中央大学は、2019年度からの学部・大学院における授業時間割を変更します。

2019年4月からは、1時限あたりの授業時間を100分とし、1～6限までの授業を各学期14週にわたって開講することとします。

これまで本学は、法令の定めに従って各学期15週の授業期間を設定し、この期間の学修をもって所定の単位を付与するため、1時限あたり90分の授業を7時限まで開講しておりました。

近年、法令の改正によって、座学の形態にとらわれない、多様な授業方法を導入することにより、授業期間の弾力的な運用が各大学に委ねられることとなり、他大学においても同様の100分・14週の体制を導入する事例が増えてきています。

本学においても、2017年度から、他大学調査及び検討を重ねてまいりましたが、本年7月の教授会等での審議を経て、100分・14週による授業時間割の導入を決定いたしました。

この時間割変更に伴い、学部・大学院研究科の時間割編成や非常勤教員の先生方の出講時間帯にも変更が生じることはもちろん、1時限あたりの授業時間が100分となることによる教育方法・内容の改善が重要となってまいります。

本学としては、単に授業実施期間を1週短縮することに終始せず、延長した10分を最大限に活用し、本学在學生に対する教育効果を高めることに主眼を置く所存であり、新たな100分授業における本学の教育のあり方・手法について検討を重ねることとしています。

何よりも、教壇に立ち、実際に学生と対峙される先生方のご協力無くしては、今回の改革を裏あるものとする事は叶いません。

既に次年度の授業編成に向けた準備も始まる折、ご多忙の中を更なるご負担をおかけすることもございますが、本学の教育・研究に携わる全ての先生方におかれましては、何卒お力添えいただけますよう、お願い申し上げます。

【授業時間割変更の概要】

1 変更の目的

- ・1 時限あたりの授業時間を 10 分延長し、座学の形態にとらわれない多様な授業方法を導入し、学生による主体的な学びや学生同士の議論に要する時間を確保する。
- ・授業実施期間を 1 週短縮し、休業期間におけるインターンシップや学生の留学等の学外活動機会を確保する。
- ・これまで個別に運用していた多摩・後楽園の両キャンパス間における時間割の共通化により可能となる、遠隔教育コンテンツの充実。

2 変更後の時間割

時限	2019 年度以降時間	現行(多摩キャンパス)	現行(後楽園キャンパス)
1	9:00 ～ 10:40	9:20 ～ 10:50	9:00 ～ 10:30
2	10:50 ～ 12:30	11:00 ～ 12:30	10:40 ～ 12:10
昼休み	12:30 ～ 13:20	12:30 ～ 13:20	12:10 ～ 13:00
3	13:20 ～ 15:00	13:20 ～ 14:50	13:00 ～ 14:30
4	15:10 ～ 16:50	15:00 ～ 16:30	14:40 ～ 16:10
5	17:00 ～ 18:40	16:40 ～ 18:10	16:20 ～ 17:50
6	18:50 ～ 20:30	18:15 ～ 19:45	18:00 ～ 19:30
7	—	19:50 ～ 21:20	—

3 開始年度・対象

2019 年 4 月から開始

- ・全学部(多摩キャンパス・後楽園キャンパス・市ヶ谷田町キャンパス)
- ※2019 年 4 月開設予定の国際経営学部、国際情報学部を含む
- ・大学院研究科(専門職大学院、戦略経営研究科ビジネス科学専攻を除く)

4 その他

授業時間割の変更に伴う、各種窓口開室時間・施設開放時間等の変更については、決定次第、本学公式 Web サイトや C plus 等でお知らせいたします。

また、各学部、大学院研究科において固有の変更事項が生じる場合には、決定次第、C plus や事務室掲示板等でお知らせいたします。